



授業に、ICT活用を！！



これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すGIGAスクール構想の実現に向け、1人1台端末と学校における高速通信ネットワークの整備が進められています。各学校では「ICT教育」の充実を目指し、教育課程編成の工夫がされています。今回は、そのICTを活用した授業づくりについて考えていきます。



皆さんは、どのようにICTを活用した授業をしていますか。

プロジェクターで図表を拡大して投影したり、インターネットで調べ学習をしたりしている。それぞれの意見や資料を学級全員の端末で共有しています。

授業の中でICTを活用すると、様々な教育効果があるようですね。

教師が電子黒板に図形の面積問題を提示すると、子どもたちは、その画面上でタッチペンを活用して、自分の解き方を書き込みながら意見交換をしています。



①ICT活用の5つのメリット

1. わかりやすい授業 ⇒ 映像やアニメーション・音声など具体的な情報提供ができる。
2. 学習の効率化 ⇒ 黒板の内容を端末で共有して書き写しの時間を短縮すれば、思考力・判断力・表現力を深める活動時間を増やすことができる。
3. 個別学習・協働学習⇒ 一人一人の理解度を把握し、各自の端末に支援ができる。グループ内でお互いの考えを視覚的に共有したり、課題に対する意見整理を端末上で操作したりすることができる。
4. 情報活用能力 ⇒ 必要な情報を様々な方法で収集し、まとめることができる。
5. 校務の効率化 ⇒ 子どもたちの考えや学力定着状況を一齐に把握することができる。

②ICTの活用の紹介

「どの教科・領域でも」「誰でも」できるICT



情報検索・収集・整理



考えを共有・共同作業



学習状況把握・個別支援



観察状況の共有

1人1台を有効活用して学びを深めるICT活用例

国語「文章作成・漢字・ことわざ・慣用句」

- 文章作成ソフトで、校閲機能を活用して、文章を書き、推敲しながら繰り返し手直しをする。
- 漢字・ことわざ・慣用句などの動画を用いて、成り立ちや意味・活用の仕方をイメージし習得する。

算数・数学「図形・関数」

- 画面上で、図形を切り分けて、面積を求める。
- プログラミングを通して、図形を作図する。
- 関数のグラフを、式の値を変化させて作成し、特徴を考察する。

社会「情報収集・分析・資料作成」

- 現地の情報をリアルタイムで収集する。
- 地図の中に調査情報を書き入れ、調査結果をまとめる。
- 収集した情報を分析して、プレゼン資料を作成して発表する。

理科「観察・実験」

- 観察・実験を行い、動画で記録し、繰り返し視聴しながら、考えを深める。
- 観察や実験のレポートやプレゼンテーション資料などを写真やグラフを入れて作成し共有する。

外国語「発信力・コミュニケーション力」

- ライティングの自動添削機能やスピーキング音声認識機能を使いアウトプットの質を高める。
- 海外の学校や子供とつながり、英語で交流や議論をする。

音楽・体育・図工・技術・家庭科

- 練習や活動、実習や作品づくりなどの様子を動画で撮影し、アドバイスし合ったり、紹介し合ったりする。
- 個々のものを重ね合わせ、つなぎ合わせて合作を作る。

以下のサイトを参考にして、授業にお役立てください。

- ☆文部科学省 GIGA スクール構想の実現へ
- ☆千葉県総合教育センター情報・ICT 教育

<https://www.mext.go.jp>

<https://www.ice.or.jp>

先生たちの声

- ・授業への関心が高まり、顔を上げて話を聞き、集中して学習できるようになった。
- ・タブレットの活用により、自主的に調べたり記録したりするようになった。
- ・発表が苦手だった子が、情報を活用しながら自分の考えを語れるようになった。
- ・算数の図形が動くソフトを使ったら児童の理解が深まり難問にもチャレンジできた。
- ・教科書やプリントで伝えづらい音、様子をリアルに伝えることができた。

